

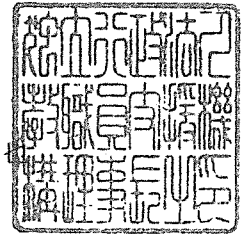
独教研第32号

令和2年2月13日

各都道府県知事 殿

独立行政法人教職員支援機構

理事長 高岡 信



(印影印刷)

令和2年度いじめの問題に関する指導者養成研修の実施について（依頼）

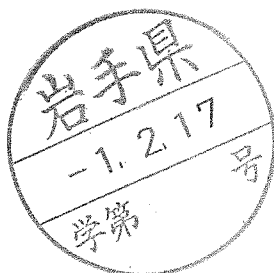
平素より、教職員支援機構の研修事業に御協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、令和2年度の標記研修につきましては、別添実施要項のとおり実施いたしますので、貴管下の私立学校に御周知いただきますようお願いいたします。

ついては、受講者の推薦がある場合は、貴管下の私立学校分を取りまとめの上、様式1「推薦名簿」を、つくば会場分は令和2年4月2日（木）までに、他会場分は令和2年4月15日（水）までに、電子メール（宛先：kk2@ml.nits.go.jp）にて御提出ください。

実施要項等は、当機構 Web ページ (<https://www.nits.go.jp/training/002/005.html>) よりダウンロード可能となっております。

なお、本研修の目的は、各学校・地域において、研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や、各学校への指導・助言等を受講者が行うことです。各都道府県私立学校主管部課におかれましては、研修の目的を御理解の上、適切な方を御推薦いただくとともに、受講者の成果活用に御配慮いただきますよう、よろしくお願いします。研修終了翌年度の2月頃を目処に、受講者に対し成果活用状況について調査します。



（問合せ先）

独立行政法人教職員支援機構 つくば中央研修センター  
研修プロデュース室（倉橋、長谷川）

TEL:029-879-7010,6640（平日 8:30～17:15）

FAX:029-879-6645 E-mail:kk2@ml(エムエル).nits.go.jp

## 令和2年度いじめの問題に関する指導者養成研修 実施要項

### 1 目 的

いじめ防止対策推進法（平成25年）は、いじめを“すべての児童生徒に関わる問題である”としている。そして、いじめ防止等の対策として、1）いじめられた児童生徒の心身に深刻な影響を及ぼす許されない行為であることについて、児童生徒が十分に理解できるようにすること、2）いじめを受けた児童生徒の生命・心身を保護するため、関係諸機関が緊密に連携すること、を挙げ、これらに対し、組織的かつ総合的に取り組むことで、問題の根絶をめざしている。

本研修では、学校が組織的にいじめの未然防止および早期発見に取り組むために、1）いじめの問題に関する諸課題の改善に専門的知見を活用し、組織的な取組を推進する力、2）学校、地域の教職員の専門性向上を推進する力、を習得した指導者の養成を図る。

### 2 主 催 独立行政法人教職員支援機構

### 3 共 催 文部科学省

### 4 開催地・期間・会場・定員

開催地	開催期間	会場	定員
つくば会場	令和2年5月12日(火) ～5月15日(金)	教職員支援機構つくば中央研修センター (〒305-0802 茨城県つくば市立原3)	120 名 (6 ユニット)
福岡会場	令和2年5月26日(火) ～5月29日(金)	南近代ビル貸会議室 (〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南4丁目2番10号)	80 名 (4 ユニット)
京都会場	令和2年6月9日(火) ～6月12日(金)	ホテルルビノ京都堀川 (〒602-8056 京都府京都市上京区東堀川通下長者町下ル3-7)	80 名 (4 ユニット)
仙台会場	令和2年6月23日(火) ～6月26日(金)	フォレスト仙台 (〒981-0933 仙台市青葉区柏木1丁目2番地45)	80 名 (4 ユニット)

### 5 受講者

#### (1) 受講資格

①都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者

②小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭

③当機構の修了証書をもって単位認定を行う（予定を含む）教職大学院の学生（教職経験のある者に限る）

※「第4次男女共同参画基本計画」（平成27年12月25日閣議決定）を踏まえ、本研修における女性教職員の割合を10%以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について配慮すること。

（参考：令和元年度…17.6%、平成30年度…16.2%）

## (2) 推薦人数

4会場とも全ての都道府県を対象とし、合計推薦人数は、各都道府県（中核市分を含む）においては7名程度、各指定都市においては2名程度とする。

## (3) 推薦手続

推薦期限：【つくば会場】令和2年4月2日（木）【他会場】令和2年4月15日（水）

各都道府県・指定都市教育委員会においては推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

私立学校においては、都道府県知事部局に連絡し、都道府県知事部局が、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

国公立大学法人、独立行政法人国立青少年教育振興機構及び教職大学院を置く各大学については、各機関の担当部局が取りまとめの上、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

## (4) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。定員を超過する場合は、受講者数を調整する場合がある。

## 6 研修内容

別紙「日程表」のとおりとする。

講義と協議から、いじめの問題の捉え方について理解を深めるとともに、未然防止、問題の解決に向け、適切な対応や体制づくり等の効果的な考え方を学ぶ。これらを踏まえ、いじめの問題に取り組む指導者としてのマネジメントの基礎を身に付ける。

## 7 事前課題

### (1) 研修成果活用計画書の作成

演習・協議用資料として、事前にいじめ問題に関する指導への組織的取組に関する課題等（A4用紙1枚程度を予定）を作成し、提出すること。内容等の詳細は、受講者決定時に別途連絡する。

### (2) 事前学習

受講者は、本研修を受講するに当たり、事前に文部科学省からの通知、資料等に目を通しておくことが望ましい。資料名等の詳細は、受講者決定時に別途連絡する。

## 8 その他

(1) 所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。

(2) つくば会場の研修は、原則として宿泊研修とし、教職員支援機構の宿泊施設を利用するものとする。他の開催地における宿泊等については、受講者各自で手配するものとする。研修及び宿泊に際し、特別な配慮が必要な者（障害、持病等）を推薦する場合には、事前に当機構に相談すること。

(3) 推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

## 令和2年度 いじめの問題に関する指導者養成研修 日程表(全会場共通)

8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	12:00	13:00	14:00	14:15	15:15	15:30	17:00
第1日	受付 (30分)	オリエンテーション (30分)	休憩	開講式 20分	講義 「いじめの問題に関する現状と取組」 文部科学省 (90分) 10:30-12:00	昼休憩(60分)	講義 「いじめの問題の捉え方」 (1) (60分) 13:00-14:00	休憩	講義 「いじめの問題の捉え方」 (2) (60分) 14:15-15:15	休憩	発表・協議 「いじめの問題への組織的取組」 に関する課題」 (90分) 15:30-17:00
			休憩	休憩			休憩	休憩			
第2日	受付	講義・協議 「いじめの問題への組織的な取組の考え方と実践(1)」 (90分) 9:00-10:30	休憩	講義・協議 「いじめの問題への組織的な取組の考え方と実践(2)」 (90分) 10:45-12:15	昼休憩(60分)	講義・協議 「法を踏まえたいじめの問題への対応」 (1) (90分) 13:15-14:45	休憩	講義・協議 「法を踏まえたいじめの問題への対応」 (2) (90分) 15:00-16:30	休憩	研修成果の活用① (10分)	
		講義・協議 「ネットいじめの未然防止及び解決に向けた指導と対応(1)」 (90分) 9:00-10:30	休憩	講義・協議 「ネットいじめの未然防止及び解決に向けた指導と対応(2)」 (90分) 10:45-12:15		昼休憩(60分)	講義・協議 「いじめの問題に関する保護者との連携、信頼関係構築の在り方(1)」 (90分) 13:15-14:45	休憩	講義・協議 「いじめの問題に関する保護者との連携、信頼関係構築の在り方(2)」 (90分) 15:00-16:30	休憩	研修成果の活用② (10分)
第3日	受付	講義・協議 「いじめの問題への組織的な取組の考え方と実践(1)」 (90分) 9:00-10:30	休憩	講義・協議 「いじめの問題への組織的な取組の考え方と実践(2)」 (90分) 10:45-12:15	昼休憩(60分)	講義・協議 「法を踏まえたいじめの問題への対応」 (1) (90分) 13:15-14:45	休憩	講義・協議 「法を踏まえたいじめの問題への対応」 (2) (90分) 15:00-16:30	休憩	研修成果の活用① (10分)	
		講義・協議 「ネットいじめの未然防止及び解決に向けた指導と対応(1)」 (90分) 9:00-10:30	休憩	講義・協議 「ネットいじめの未然防止及び解決に向けた指導と対応(2)」 (90分) 10:45-12:15		昼休憩(60分)	講義・協議 「いじめの問題に関する保護者との連携、信頼関係構築の在り方(1)」 (90分) 13:15-14:45	休憩	講義・協議 「いじめの問題に関する保護者との連携、信頼関係構築の在り方(2)」 (90分) 15:00-16:30	休憩	研修成果の活用② (10分)
第4日	受付	講義・協議 「いじめの問題への組織的な取組の考え方と実践(1)」 (90分) 9:00-10:30	休憩	講義・協議 「いじめの問題への組織的な取組の考え方と実践(2)」 (90分) 10:45-12:15	昼休憩(60分)	発表・協議 「研修成果の活用③」 (90分) 13:15-14:45	休憩	閉講式 20分	休憩	研修成果の活用④ (10分)	
		講義・協議 「ネットいじめの未然防止及び解決に向けた指導と対応(1)」 (90分) 9:00-10:30	休憩	講義・協議 「ネットいじめの未然防止及び解決に向けた指導と対応(2)」 (90分) 10:45-12:15		昼休憩(60分)	発表・協議 「研修成果の活用③」 (90分) 13:15-14:45	休憩	閉講式 20分	休憩	研修成果の活用④ (10分)

令和2年度いじめの問題に関する指導者養成研修 受講者推薦名簿

(機関等名)

氏 名	フリガナ	年齢 (※)	性別	所 属			希望校種 (小・中・高・特(小)・特(中)・ 特(高)から選択) (FES)	希望会場 (注6)	備考
				名 称	職 名	郵便番号			

《担当者》

氏 名	所属機関・課等	所属郵便番号	所属住所
電話番号	ファックス番号	メールアドレス	

『注意事項』

- 1 提出された受講者推薦名簿は、教職員支援機構における受講者の決定事務及び名簿作成以外での使用はいたしません。
  - 2 この用紙は、各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦事務には使用しないでください。(各都道府県・指定都市教育委員会は研修情報登録システムを使用してください。)
  - 3 中核市教育委員会においては都道府県教育委員会に対する連絡に、私立学校においては都道府県知事部局に対する連絡に、それぞれ使用してください。
  - 4 本様式は、教職員支援機構Webページ(<https://www.nits.go.jp/training/002/005.html>)よりダウンロードしてください。
  - 5 演習班編成のため、「希望校種」欄には、小・中学校教員は「小」、中学校及び中等教育学校(前期課程)の教員は「中」、高等学校及び中等教育学校(後期課程)の教員は「高」と記入してください。  
特別支援学校の教員は「特(小)・特(中)・特(高)」のいずれかを記入してください。また、指導主事等については、希望する学校種(「小」、「中」、「高」、「特(小)」、「特(中)」、「特(高)」のいずれか)を必ず記入してください。
  - 6 受講を希望する「つくば」「仙台」「京都」「福岡」のいずれかの開催地をご記入ください。
- ※年齢は、令和3年3月31日現在で記入してください。